ド級編隊
エグゼロス
HEXEROS
きただりょうま
1
JUMP COMICS SQ.

級編隊
H×EROS
1
きただりょうま
JUMP COMICS SQ.

contents
HXEROS

誰かがこう言った——
HEROはHとEROで出来ていると
第1話
現在 地球はかつてない危機に瀕している
しかしそんな絶望的な状況の中
その名の通りHとEROで悪と戦う5人のHEROが居た
その名は——

H×EROS(エグゼロス)――

第1話
光満ちるこのセカイで

どきゅうへんたい
ド級編隊
エグゼロス
HXEROS

ねぇ
知ってる？
れっくん
大人の
手の握り方
ううん
それじゃあ
ちょっと
手貸して
こうじゃ
なくて…
こうするん
だって
！
ニギッ
さわ
さわ
こうやって
ホラ
さわっ
指を絡ませ
合うのが——

大人の恋人同士の手の握り方なんだって
!?
わっ…わかったからっ!
止めてよもう…!
あははっ
何恥ずかしがってるのれっくん
ただの練習じゃん
練習って…どういう――

この日
俺は生まれて初めて

HEROになりたいと思った——

あれから5年――

ねぇ知ってる?

なぁなぁ烈人はどう思う？

例の騒ぎ

全部当たり

だったら面白いかもな

炎城烈人

うおっ このエロ本についてるアプリすげえっ!
伊達
鳥越
カメラ越しに写すと簡単にクラスメイトでコラが作れる!
って聞いといて無視かよ
烈人も見てみろよ
委員長が凄いことに……
い!? い…いいよ 俺は…!
んだよ… 折角 好きな娘でアイコラ作り放題なのに…
お前っていつもノリ悪いよな
で…でもこういうのは良くないんじゃないかな…
あー ヤダヤダ 男子って
昼間っからそんな話ばっか
気にしちゃダメだよ? 委員長
ほんっとサイテー…
カァァ

ばんっ

!?

いい加減にしなさいよあんた達

周りの娘達が嫌がってるのが分からない？

じじっ

下品な会話ならトイレでするのがお似合いよ

星乃雲母

ふんっ
ぽすっ
さ…
流石〝鋼鉄の処女〟星乃雲母…
男子どころか男子の触った物すら素手では触らない超潔癖主義
烈人も折角の幼馴染があんなだと夢も希望もないな
ま…まぁな…
そのくせ見た目が良い所為で足元には男子の屍が無数に横たわっているという…

にしても変わったよねー 雲母
昔はむしろ男子と遊ぶ方が多かったのに
ま良かったんじゃない？
きっとスケベ過ぎる男子達に懲り懲りしたんでしょ

そう…星乃はある日を境に変わってしまった…

昔はもっと積極的というか…
帰りに一緒に寄り道したりして
二人っきりの時にはよくからかわれたりもしたけど…

俺はそんな星乃が好きだったんだ
星乃

星乃
お前 今日は日直だったな
ちょっと このノート 職員室に運んでおいてくれ
わかりました
女子
男子
Notebook
note book
……

そんなに嫌なら手伝ってやろうか？
どうせまた男子の物には触れたくないとか思ってんだろ？
炎城…
……
好きにすれば？
……
くるっ
言っとくけど私の半径1m以内には絶対入らないでね
はいはい…
相変わらずだなぁ…

おいおい
あの鉄の処女が
男と歩いてるぞ
死ぬわ
アイツ
ヒソ
ヒソ
……
1m
あのさ…
周りのことは
あんまり
気にすんなよ
!
少し寂しい
けどさ…
いくら
変わったって
星乃は星乃
なんだから
……
何それ?
私が無理して
変わったみたいな
言い方じゃない
Notebook

い…いや…そんなつもりで言ったんじゃなくて…
それじゃあどういうつもり？
言っとくけど…私は昔と変わったつもりなんてないし…
へ…？
ちょっと幼馴染だからって知った様な口利かないで!!
私のことなんてなんにも知らないくせに…
そんな下らない事話す口実だったらもう手伝わなくていいから――
危なっ…

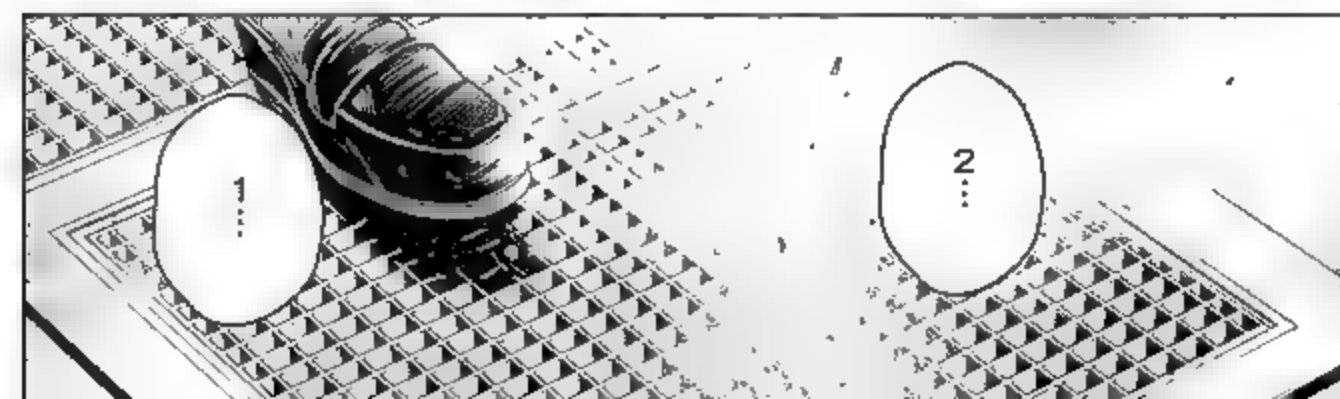
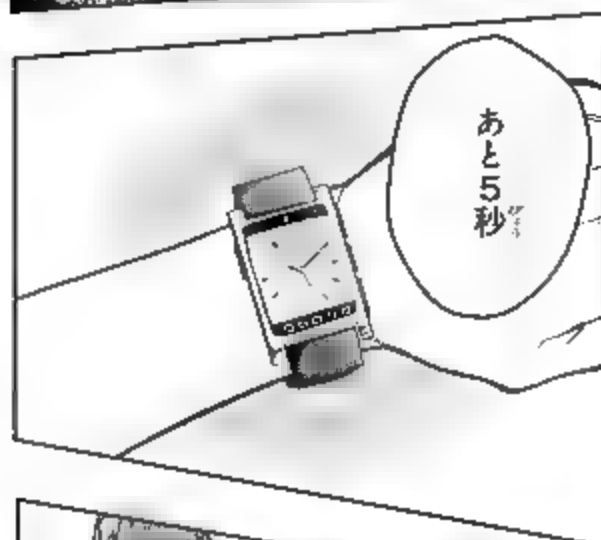
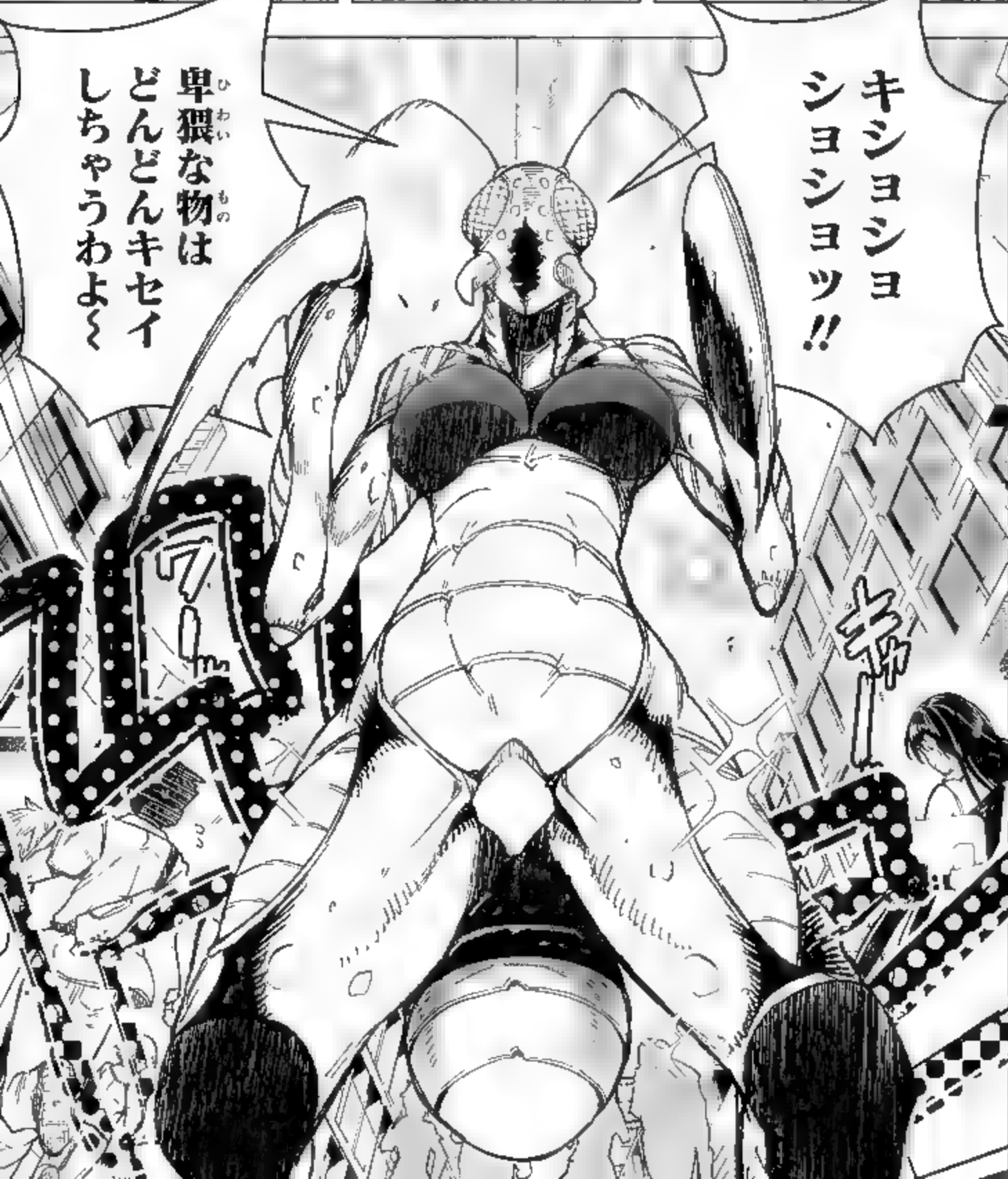
ごめん星乃っ
咄嗟に手が
出て…
今のは決して
わざとじゃ
ぺたんっ
はっ
ほ…
星乃…!?
だっ
さよなら
俺の初恋…
や…
やっち
まった…
何してんだ
烈人

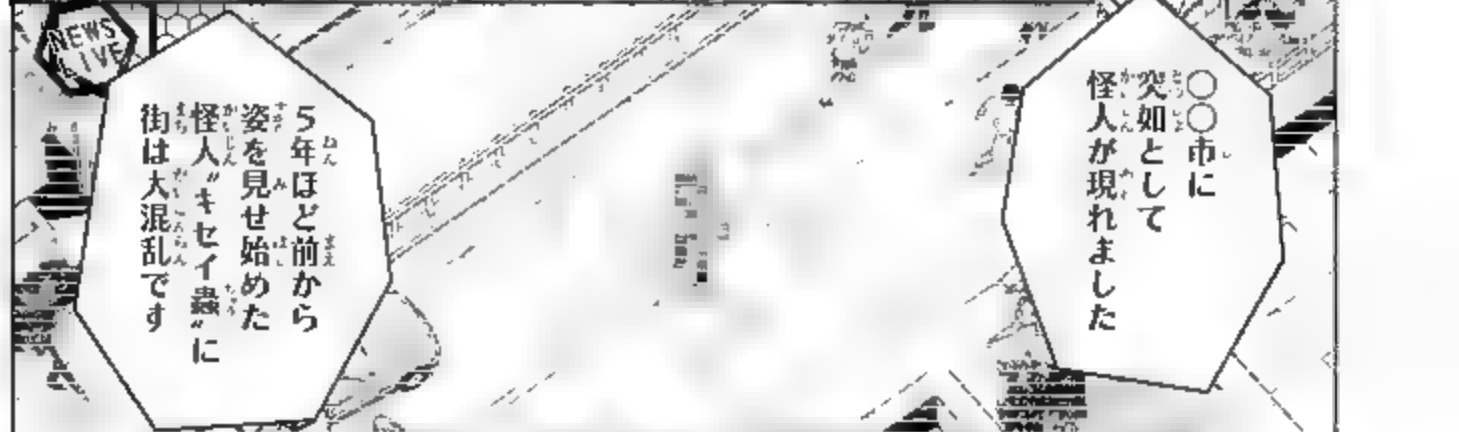
はぁぁ〜〜〜……
気にすんなって烈人
鋼鉄の処女に嫌われてない男子なんて居ないんだからさ
そうそう気晴らしにゲーセンでも寄ろうぜ
悪い…気持ちはありがたいけど
ちょっと今日も用事が出来るかもしれないから先に帰ってくれ
最近ノリ悪りーなー
また例の叔父さんの手伝いって奴？
まそんなトコ
なんだよ"かも"って
んじゃあまた明日

星乃が変わってしまった理由は
俺たち二人の秘密になっている
なんなのよもう…！
…はぁ…
はぁッ…
その理由とは──

ガタンッ
ガタッ
や…
やめようよ
こんなこと…
いいから
黙って
見てろって
あと5秒
4…
…3…
2…
1…

わッ!?
見え──
!?

何か今…中が光って見えなかったか…？
ごしごし
う…うん…
キショショッ
悪い子見いくつけた
か…
!?
怪人だ〜〜〜ッ!!
ぴゅ〜〜っ

グラビアが!?
俺の漫画も!
看板まで!!
キショショショッ!!
卑猥な物はどんどんキセイしちゃうわよ〜
キュ

NEWS LIVE
え…番組の途中ですが
たった今入ってきたニュースです
NEWS LIVE
○○市に突如として怪人が現れました
5年ほど前から姿を見せ始めた怪人"キセイ蟲"に街は大混乱です
ここでスタジオに怪人専門家の博士太郎さんをお呼びしました
博士さん解説お願いします
え…率直に申し上げますと
キセイ蟲というのは怪人ではありません
怪人専門家
博士太郎先生
彼らは数年前に地球を侵略しに来た宇宙人です

このままではさらにどんどん少子化が進み…

やがて人類は緩やかに絶滅するでしょう…！

お…落ち着いて下さい博士…！

みんなく 今日は私達のライブに来てくれてありがと〜
今日はめいっぱいサービスしちゃうからね〜！
いいゾ〜っ!!
応援してるよー！
うおおお〜ッみにゃり〜ん!!!
塾サボってよかったな
あぁ

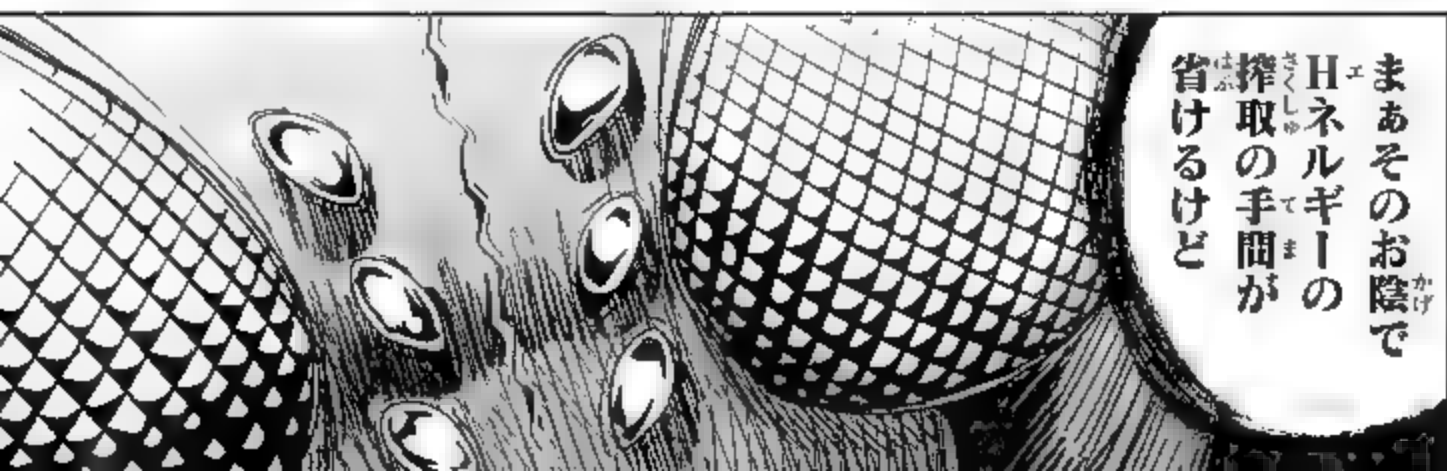
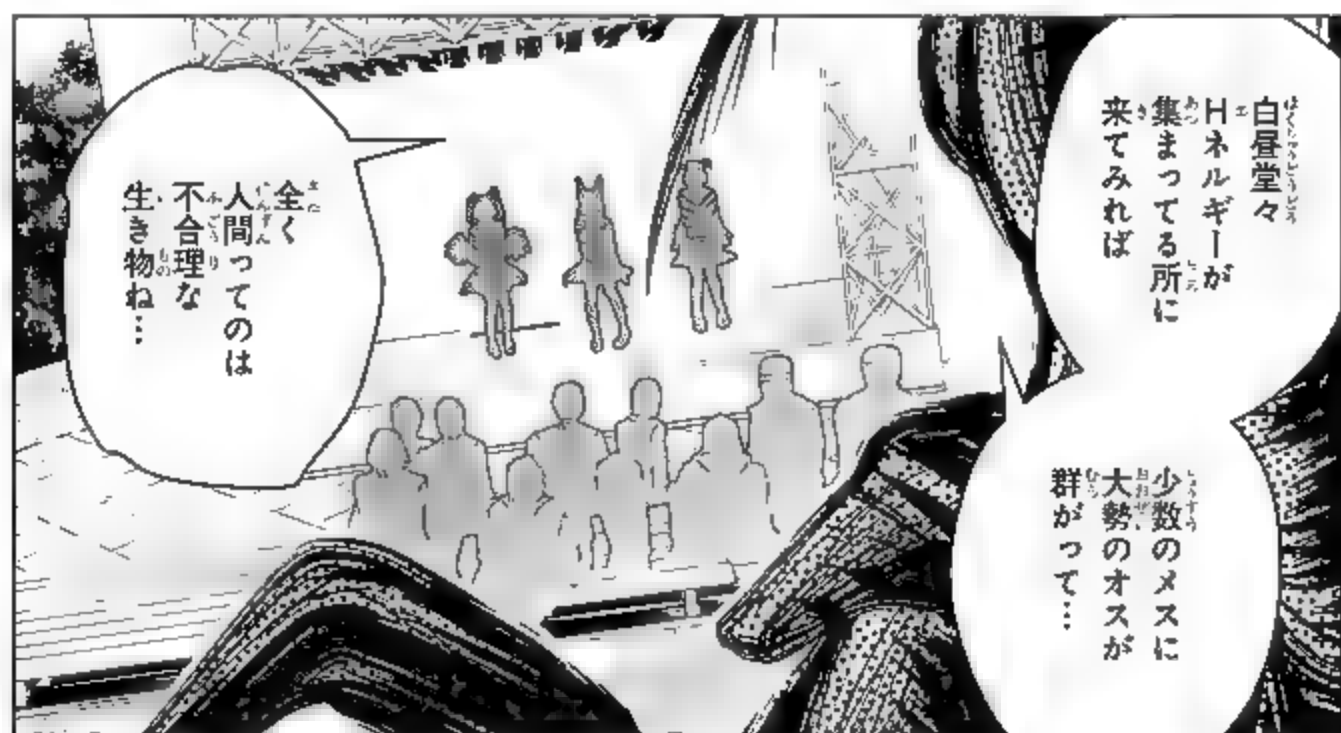
ん？

みんなの声援のお陰でなんだかきぐるみさんも観に来てくれたみたい！

……

ヨロシクね〜〜！

!?
はっ…!?
俺今年受験なのに何してんだろ…
会社行かなきゃ…
ぞろぞろ
人はどこから来て どこへ行くのだろう…?
あ…あれ!? みんなどうしちゃったのかな!?
はうッ!

……
いい加減就活すっか
ひゅるるるる〜
キショショショショッ!!
所詮人間なんてエロスを奪ってしまえばこんな物よねぇ!!
キショ?

まだ一人残ってたみたいね…
そうやってあの時と同じように…
今まで何人もの人間から感情を奪ってきたのか…
だけどこれだけは言わせてもらうぞキセイ蟲
もうこれ以上お前らの好きにはさせない…！

人間如きが
面白いこと
言うじゃない
あなたの
Hネルギーも
吸い尽くして
あげようかしら？
あなたのような
思春期の濃厚で
芳醇なHネルギーは
特に大好物でね…
そうか…
でもその前に
まずこいつを
喰らえ…
星乃が
ああなった原因…
それは──

こいつら
キセイ蟲だ

…ば…馬鹿な…
人間如きにこの私がっ…
…コイツは一体…!?
ファッ
ふうっ
そして俺はキセイ蟲を退治する
高校生兼HEROだ

地球防衛隊
サイタマ支部
資料室
地球防衛隊
サイタマ支部
HERO課
いい加減どうにかしてくれよ…
あのキセイ蟲を倒すと服が破ける仕様…
毎回着替え持ち歩くの大変なんだけど
仕方がないだろう？烈人くん
その装置…H×EROSは君の肉体のみを強化させるものなんだから
それでも毎回裸で街中に放り出される身にもなってくれよ…！
う～ん
でも…

それってそんなに恥ずかしがることかなぁ？
この人は地球防衛隊サイタマ支部HERO課課長
はいメンテ終わったよ烈人くん
むしろその格好も十分恥ずかしいと思うんだけど…
庵野丈
そして俺の叔父だ
ひと月前から俺を含め4人の高校生が
このH×EROSとかいう装備を使ってキセイ蟲退治を手伝わされている
それに…メンバーを増やすって話はどうなったんだよ…？
今も候補を探してる所なんだけど
なかなか君達のような素質のある人が居なくてね…

もういっそのこと叔父さんが自分でやればいいんじゃないの？
おいおい無理言うなよ
前にも話したろう？
このエグゼロスは使用者のエロスの源Hネルギーを力に変換するんだから
烈人くんの様な一番多感な時期の少年少女が最も効力が高いんだよ
僕みたいなおっさんと違ってね
SW型人体強化装置
H×EROS
それに…
あの娘を変えてしまったキセイ蟲が許せないいんだろ？
！

確かに…俺が
この手伝いを
しているのは
それが理由だ…
そんなことをしても
あの頃の星乃が
戻って来ないのは
わかってる…
…だけど・

俺は
決めたんだ
もう誰にも
こんな思いは
させないって…！

たとえあいつが
否定したと
しても…
俺にとっては
かけがえのない
初恋の思い出
なんだ…

やっぱり
明日ちゃんと
謝ろう…

翌日――

星乃

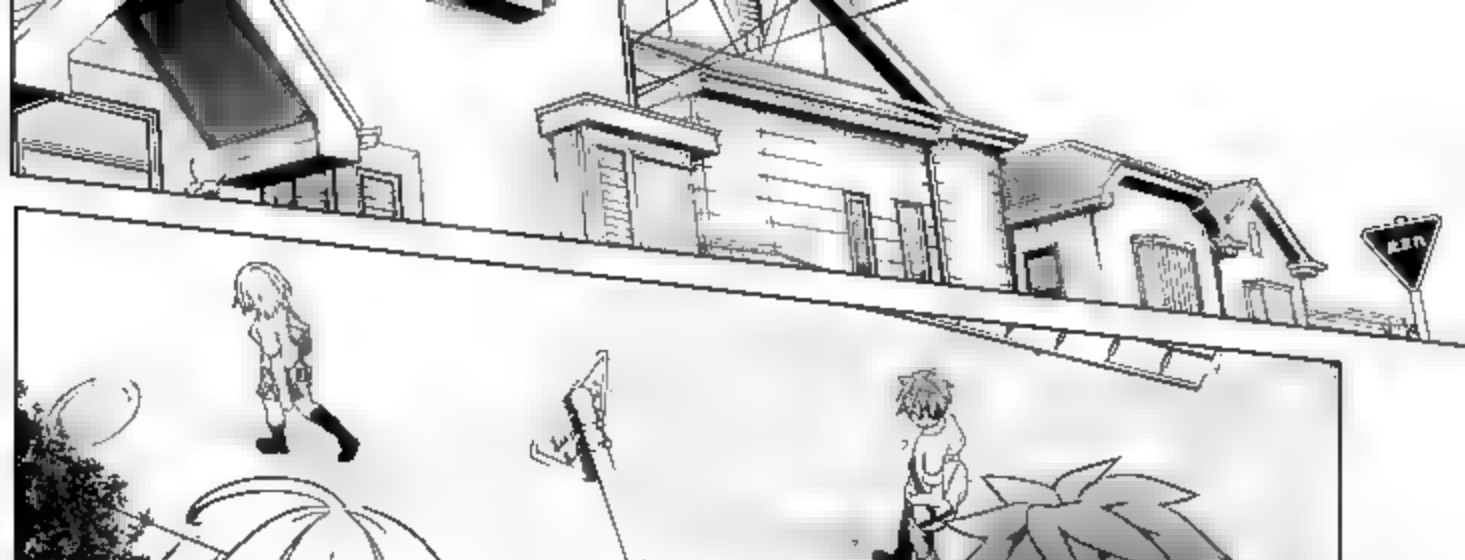
昨日は悪かった

な…なぁ
星乃…！
昨日は
悪かった
って…！
男子
何こっち
ジロジロ
見てるのよ
な…なんでも
ないっす…
…ま…
まさか…
あの──
おはよう
おはよー
雲母
星乃の意識から
俺が完全に
消されてる!?
キーンコーン
カーンコーン
じゃーねー
……昔
誰かが
言っていた
〝好き〟の対義語は
〝嫌い〟ではなく
〝無関心〟だと…

…わ…わかった…！
ただ一言だけ聞いてくれ…
返事をしなくてもいいし
許してくれなくてもいい…
星乃が変わったかどうかなんて本当はどうでもいいんだ…
たとえ昔のことを思い出したくなかったとしても…
俺は…あの頃の星乃が──

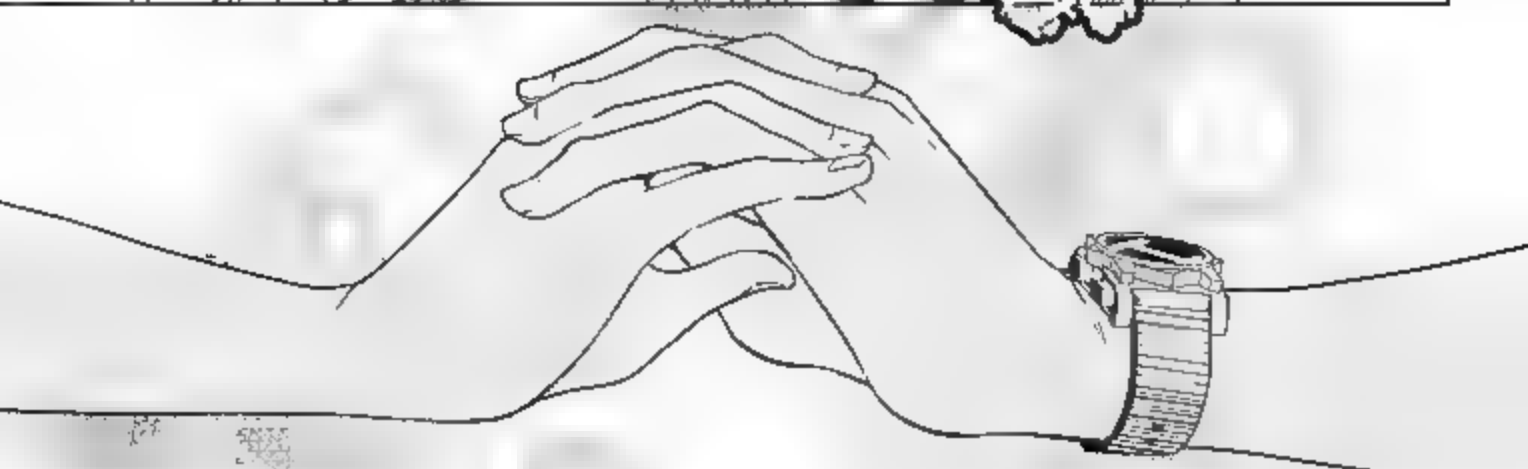
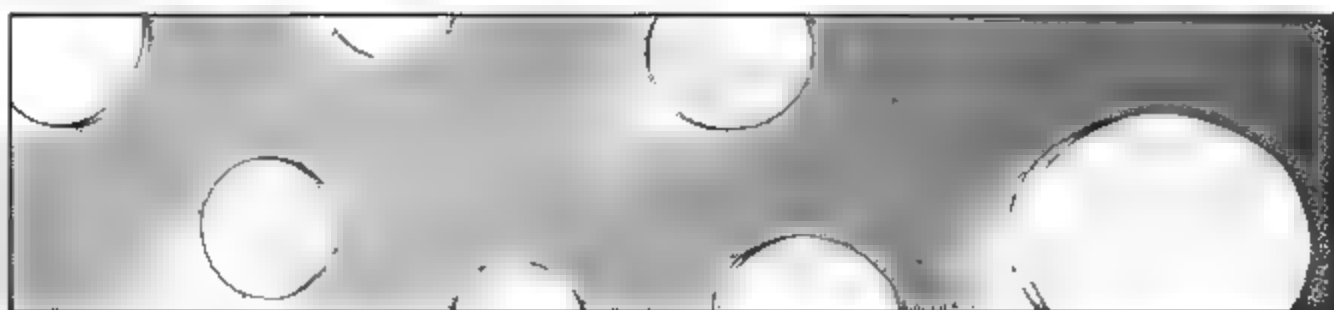
キショショッ
見つけたわよ
人間…！
お前は
昨日の…！

あ…
…あ…
！
ずっ
大丈夫だ星乃…
少し下がってろ…
もう星乃に手は出させないっ…！
来い キセイ蟲

ボ
スッ
・・・
ぺちーん
ぶッ!?
炎城…っ!?
そ…そうか…昨日消費した分Hエネルギーが足りないのか…!!
一旦どこかで溜めないと…!

昨日と同じパワーが出ないようね…
ミリ
ミリ
ミリッ
それなら女王様から頂いたこの新しい身体で
街中の人間のHネルギーを吸い尽くす所を指を咥えて見てるがいいわ…
手始めにまず…
後ろの雌のHネルギーを頂こうかしら
!?
ぱすっ

ちょッ何よコレ…!?
逃げるぞ星乃…!
う…うん
…あれ…なんだろうこの感じ…
こんな状況だっていうのに…
なんだか凄く——

はぁっ…
はぁっ…
はぁ…
……炎城…
…手…
ぱっ
ごっ…ごめん
俺また――
っ!?
違う…

今だけ許してあげるから…
も…もうちょっと握ってて…

ピシッ
ドキ
ああ…
男の子の手って
本当はこんな感じ
だったんだ…
今まで
全然触れて
なかった分…
余計に
男子に対して敏感に
なっちゃってる…
だけど!!
素手と素手で
触り合うなんて…
裸で
抱き合ってるのと
ある意味
同じじゃない…
こんなの
我慢出来ない
キィイイイ
閉じてた
心が

開いちゃうっ…！
アァァァッ

な…
なんなのよ
これ!?
俺も…こんなの
見たことない…
きゃッ
星乃のHネルギー…!?
まさか
これって…
見つけた
わよ…!
!?

さぁ……観念するのね人間……!!

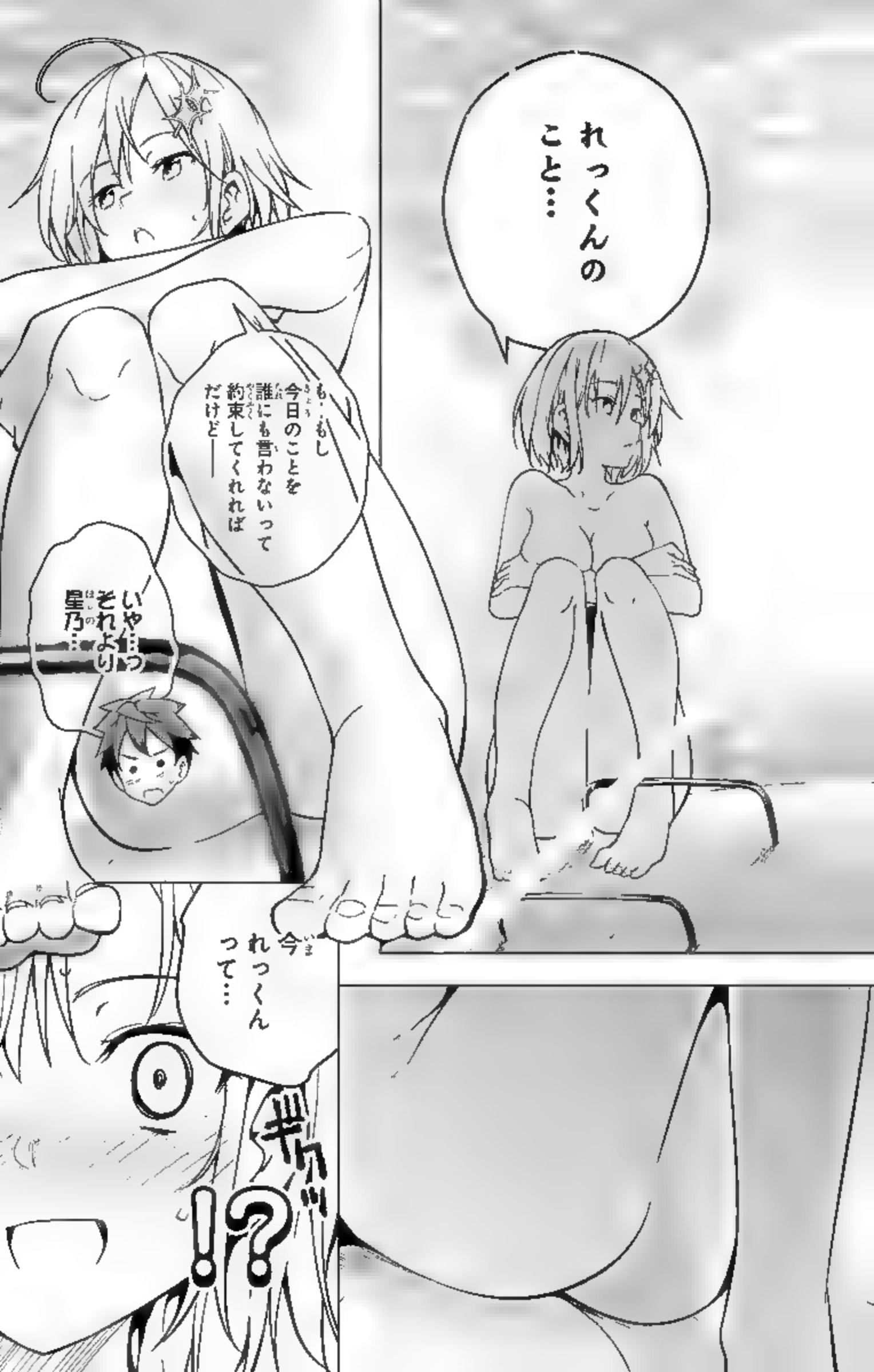
ど…どうするのよコイツ…!?
理由は後で説明すっから
とりあえず一緒に思いっきり
ブチかますぞッ!!!

す…
すげーよ星乃！
かしっ
あんな大型のキセイ蟲を一撃なんて──
あ

ホワッ
!?
いや〜〜〜〜〜ッ
ぷん
どうするのよこの状況…!?
わ…悪かったよ巻き込んで…
…だけど…お前が居てくれて助かったよ星乃…
…あぁ…そっか…
こいつは私の知らない所で闘ってたのか…
あの日…私達を襲った化物と——

大丈夫!? 星乃っ
今 アイツに 何かされたみたい だったけど…
うん… 平気… ちょっと ビックリした だけ…
ば… 馬鹿な…
これだけ Hネルギーを 吸い取っても 平然としている なんて…
なんて ドエロい人間 なのだ…!
!?
この量は常人の 数倍…数十倍… いや それ以上…
一体 何を考えていれば これほどのエロスを 感じられる というのだ…!?
この私が Hネルギーを 吸い尽くせない なんて…
この人間…
——

不可能
ええ〜〜〜〜〜!?
……は…
星乃…
ぜっ…
絶対違うんだからーっ!
!?
だーっ
こうして私は自分の心に鍵をかけ…
男子を拒絶するようになった…

私も手伝おっか…？

れっくんのこと…
も…もし今日のことを誰にも言わないって約束してくれればだけど——
いや…っそれより星乃…
今れっくんって…
ギクッ
!?

なっ…何でもない
ごめん忘れて…
いや…今確かに――
炎城炎城炎城炎城炎城炎城炎城炎城
き…聞き間違いよね…!?
…は…はい…

ひゅんっ
何昼間の公園で全裸でイチャコラしてんねんっ!!!
!?
お…お前らッ…!?

ったく…
大型キセイ蟲が出た思て人が折角駆けつけてやったのに…

ふーん…このコがイエロー？
イエローよりもドエローって感じの身体やな
!?
よっ
な…なんなのこの人達…!?
しょ…初対面の人に失礼ですよ百花ちゃんっ…
ほれ
ぱさっ
人が集まって来ん内にさっさと着いや
あ…ありがとう…

誰かが言った――――

んでもって こっちが 合鍵や
はい？
「はい？」や あらへんがな
エグゼロスに入ったら一緒に住むって聞いてないんか？
!?
ってことは 今4人は…

一緒に住んでるけど それがどうかしたんか?

HEROはHとEROで出来ていると

ここサイタマには平和を守る

HでEROな5人のHERO達が居る…

炎城の馬鹿〜〜〜っ!!

彼らの名は—

エグゼピンク
桃園百花
(77-54-79)
EROS
エグゼホワイト
白雪舞姫
(92-62-90)

エグゼイエロー
星乃雲母
(88-60-82)
級編隊
HX
エグゼブルー
天空寺 宙
(86-52-78)
エグゼレッド
炎城烈人
(83-61-83)

ド級編隊
エグゼロス
HXEROS

第2話
結成、エグゼロス

どきゅうへんたい
ド級編隊

エグゼロス

HXEROS

キセイ蟲

人類から
〝生命の源〟を
消し去ることで
絶滅に追い込み

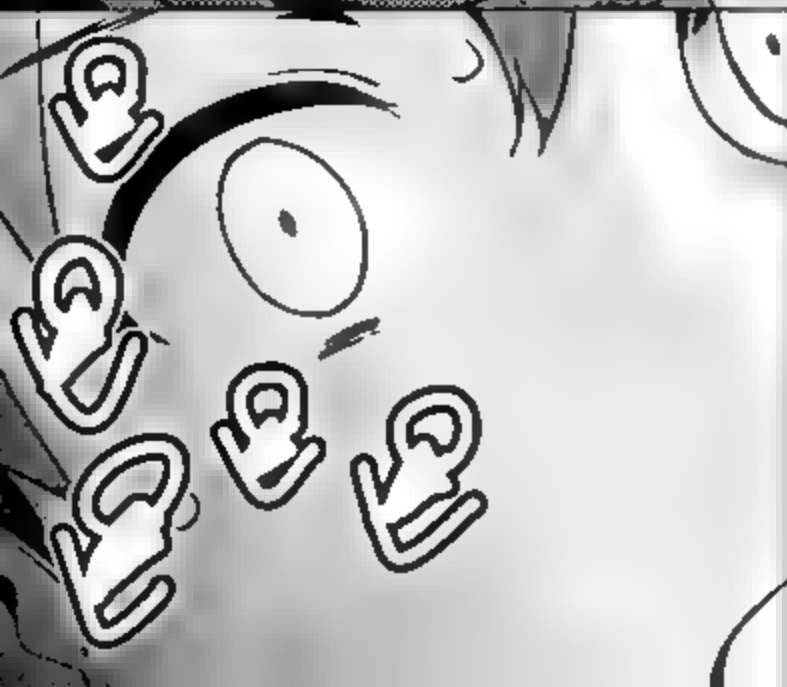
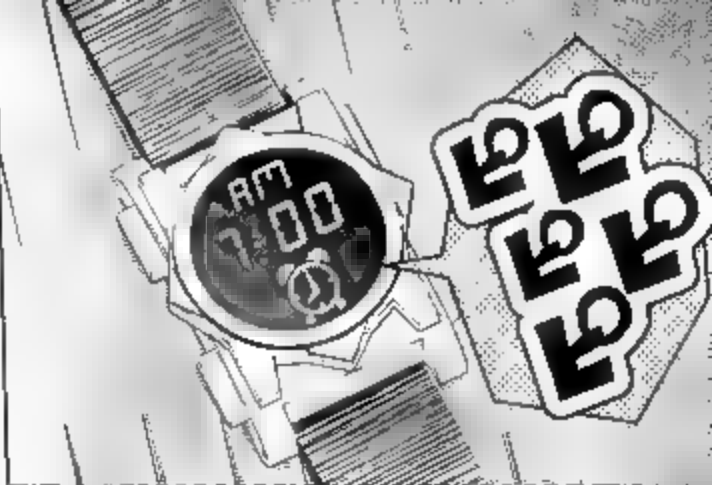
緩やかに
地球侵略を
目論む外来種

しかしそんな
奴らと陰で闘う
HERO達も居る

H×EROS

彼らは文字通り
EROSを
Hネルギーに変え
日夜キセイ蟲と
闘っている——

や…やばいって星乃…！
こんな所で…ッ
れっくんが言ったんでしょ…？
キセイ蟲を倒すにはHネルギーが必要だって…
それに勘違いしないでよね…？
別にこれはれっくんの為なんかじゃなくて…
世界の平和の為なんだから

ピピピピ
AM 7:00
ぱんっ
や…やっぱ夢か…！
はーっ
はーっ
OFUTON
もぞっ
！
……？
OFUTON

なんだ…お前かルンバ
モフッ
コモンドール犬
ルンバルセーヌ三世
(略称:ルンバ)
ん?
何咥えてんだ…?
こ…これは…!
ルンバッ
逃げても無駄やで!
どたた
どたたっ

さっさとウチの
パンツ返して
もらうで――
……
ばっ
しっ
いや…これは
ルンバが…
ど…どういう
つもりやねん
烈人…

男やったら獲るなら自分の手で獲りや！

エグゼピンク
桃園百花

怒るとこそこ!?

天空寺ッ…!?
烈人くん…
エグゼブルー
天空寺 宙
また寝ぼけてこっちの部屋に入って来たんだろ…!?
2F
お前の部屋は向かいだって何回言ったらわかるんだよっ!
天空寺の部屋
炎城の部屋
なんで宙の部屋で寝てるの?
それはこっちの台詞だ…

ほら…寝るなら自分の部屋で寝ような…？
？？？
……
じぃ〜っ
じぃ〜
はーっ…
朝から大変でしたね炎城さん…
ありがとう白雪…
お前だけだよ…この家でまともな反応してくれるのは
コトッ
そんなこと無いですよ
皆良い娘達じゃないですか
エグゼホワイト
白雪舞姫

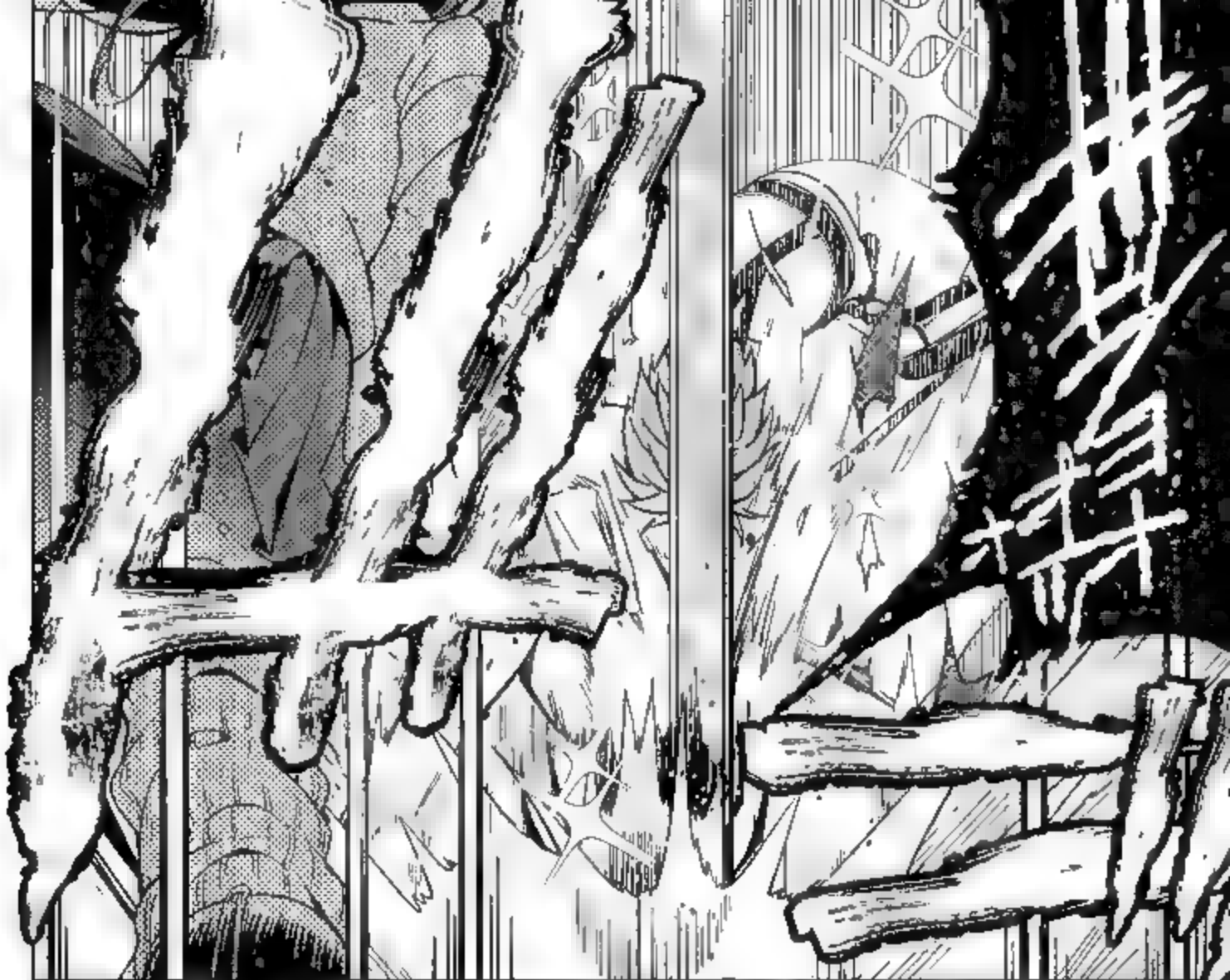
ほら
ルンバちゃんも
朝ごはんですよー
ポッ
あら
変な所に…
モフー
ぽっ
!?
ちょ…ッ
ルンバちゃー
そこは駄目ですよ…!
もにもに
もにもに
モブッ
やン…
あっあっ…

あ〜〜〜〜〜っ！
ゴホッ
ゴホッ
…はッ!?
おっ…
お見苦しい所をお見せしました…
だ…大丈夫何も見てないから…！
ヒーローはHとEROで出来ていると
行ってきます
昔誰かが言っていた——

キャアア
アアッ!!

何だこの短い丈はっ…！
キセイしてやる！
い〜や〜〜〜ッ
キショショッ
これで良し
こんなのヤダ〜ッ！
ぱっ
キショ？
そこまでだキセイ蟲

あ…ありがとうございます…
ってあれ…？

俺の名前は
炎城烈人

高校生兼
HEROだ

このSW型
人体強化装置
H×EROSで
人類からエロスを奪い
滅ぼそうとする
キセイ蟲と
日夜闘っている

なんだ今の…？

烈人か

おいっす

また鋼鉄の処女だよ

ふんっ

他のクラスの奴にしつこく連絡先を訊かれてるかと思ったらあの有様さ

一体どんな断り方したんだか…

へ…へぇ…

鋼鉄の処女

星乃雲母

!
えっ…炎城(えんじょう)!?
おっす…
びくっ
……
そ…それじゃあ私(わたし)はこの辺(へん)で…
ガチャ
この辺(へん)でって…それ掃除用具(そうじようぐ)入れ…
キャーッ
なんかあったのか烈人(れっと)
別(べつ)に…

言える訳がない…
それが俺の初恋相手
星乃雲母と昨日交わした約束なんだから——
実は彼女は——
いやー新しいメンバーが見つかってよかったよ
これでエグゼロス
本格始動だね
なんなのこの人
後で説明するから

軽いノリで
炎城を手伝うなんて
言っちゃったけど…
なんなの
この人達
…!?
あの
質問なん
ですけど
チームだからって
なんで一緒に住む
必要があるん
ですか…!?
そりゃあ
HEROに緊急
出動は付き物だし
敵を倒すには
チームワークが
大切だからね
だから
って…!

まぁまぁ
星乃雲母言うたっけ？
きらら・・・です…！
気安く触らないでっ……
ぱしっ
！
まぁまぁ そんなこと言わずに似た者同士仲良くしようや
私は全くそうは思わないですけど…！
いやいや 君達は同じ素質を持ってるんだから そうとも言えないぞ？
!?
いや…叔父さん その話は良いんじゃないかな…!?
なんなんですか その素質っていうのは…!?
ん？

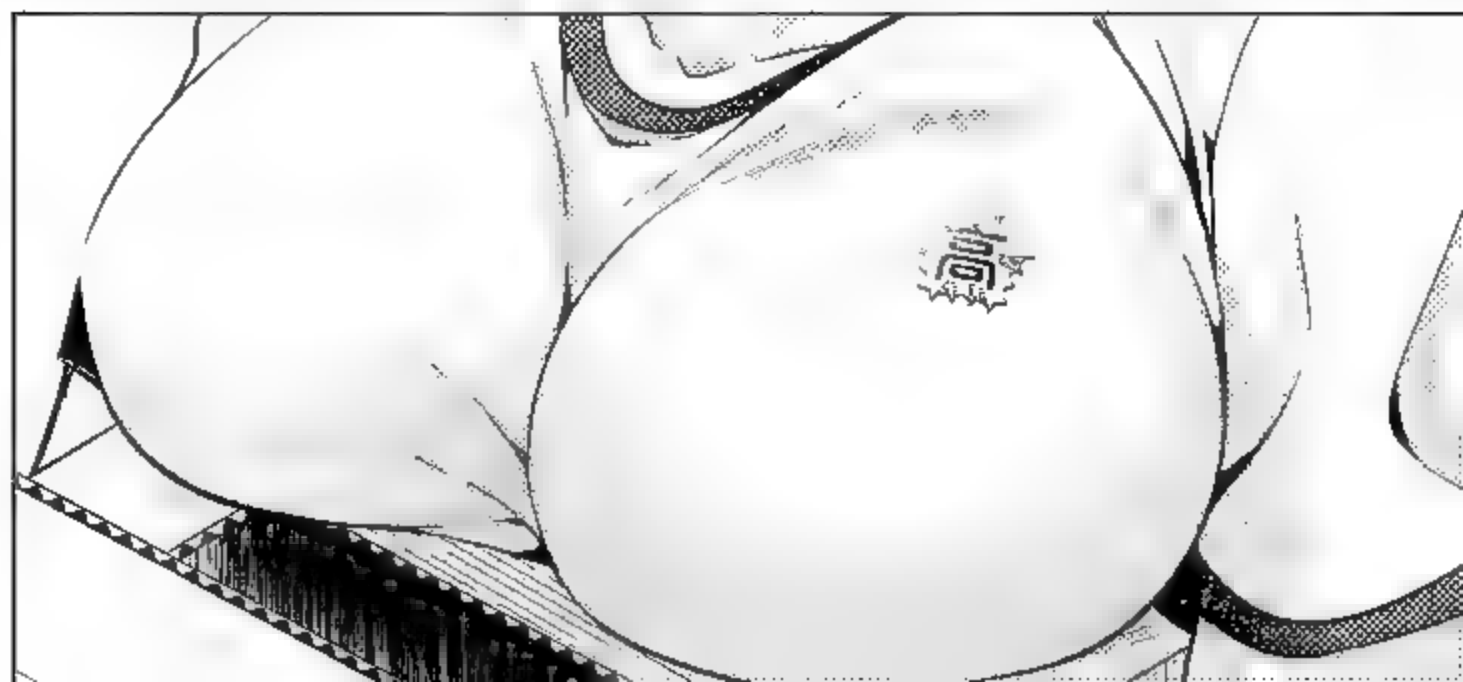
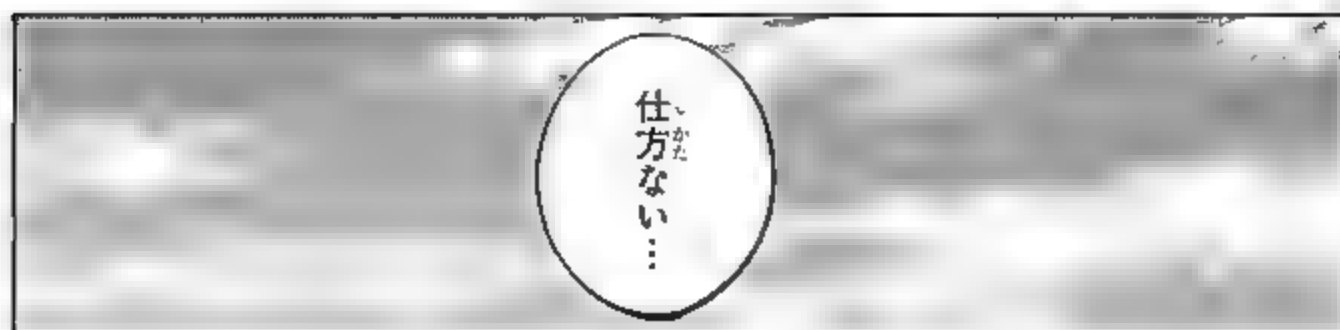
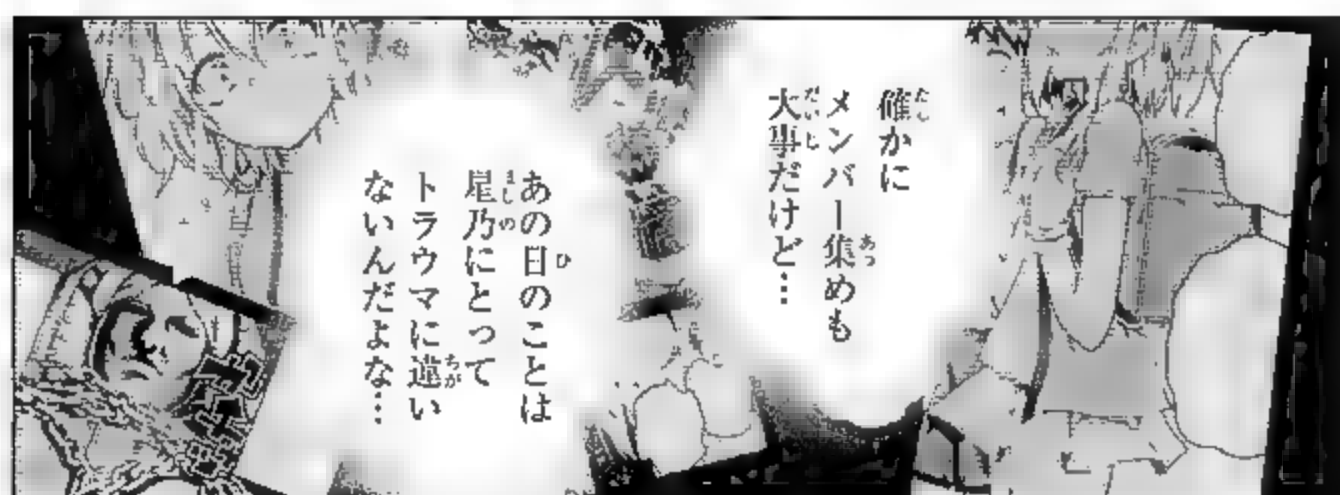
EROSを感じる能力

帰ります
そんな戯言に付き合ってられるほど暇じゃないので…
バタンッ
何怒ってるんやあいつ…
あ…ちょっと…！
うーんまいったな…
昨日の烈人くんの話が本当なら彼女は相当な素質の持ち主ってことになるんだけど…

烈人くん
彼女を説得出来ないかな？
いやいや…無理だって…！
見ただろ？星乃のあの反応！
ウチからも頼む！
なんとしてもウチらにはうんもが必要なんや…！
桃園…
HEROと言えばやっぱ5人組やろ？
あそういう理由…？

キーンコーン

は……

んなこと言われてもなぁ…

らくちん
星乃ちょっといいか…？
炎城…
な…何の用…？
昨日のことは誰にも言ってないでしょうね…!?
わかってるよ…
だからわざわざ掃除の時間を見計らったんだろ？
じゃあまさか脅しに来たとか…!?
な訳ねーだろ…

本当は説得して来いって言われたんだけど…
よく考えてみればお前にトラウマの原因と闘わすなんて酷な話だよな
あ…当たり前でしょ…！
大体アンタの方こそ…
なんでそうまでしてあんなのと闘ってるのよ…！？
…時々思うんだ…
あの日キセイ蟲に出会わなければ俺達の関係は変わってたのかもって…
俺達以外にもキセイ蟲の所為で人間関係を壊された人達は大勢居る
どんな理由があろうと
人を想う気持ちを奪うなんて許せないだろ？

……炎城……

叔父さんは星乃の素質を勿体ながるかもしれないけど

……

適当に誤魔化しておくから安心してくれ

だからソレは勘違いだって…！

わかってるよ…

それじゃ邪魔して悪かったな

何よ…

皆して私をエロ呼ばわりして…！

た…確かに昔は少し…

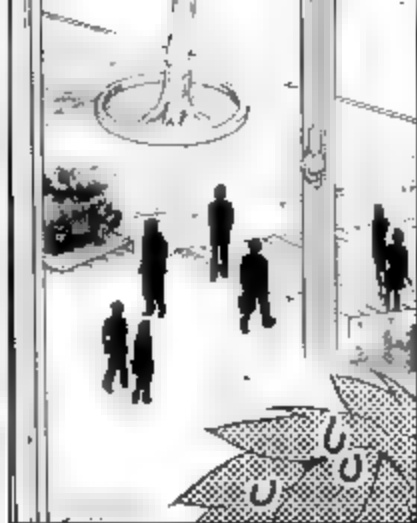
心当たりが無い訳でもないけど…

ミーンミンミンミー
ねぇ知ってる?
人の心臓って
一生で30億回も脈打つんだって
ふーん
それじゃあ試しにさ

どっちの心臓が速いか比べてみない？
トタッ
！
…ふ…面白い…
やるからには負けねーぞ！
言ったなー
!?
それじゃあこうしてお互い胸に手を当てて…

いやフッッ！それは流石に無理と言うか無茶と言うか…
ぱっ
もぅ…
仕方ないなぁ…
それじゃあこうすれば
聞き比べやすい？
!?
た…確かにそうだけど…
こんな密着されたら心臓が——

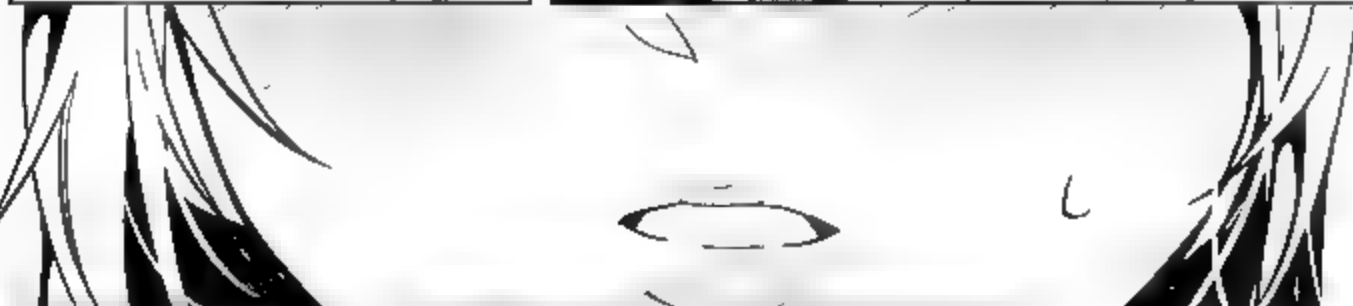
トクン
トクン
トクン
トクン
…あれ…この音…
星乃の心臓も…
凄く速くなってるような…
あははっ
今回は引き分けだね…
う…うん…

ガバッ
てっ
いつまで寝てんだよ烈人
あれ…星乃は…?
キョロ
キョロ
は?知らねーけど…
もうとっくに下校時間だぞ?
ま…また星乃の夢か…
今までは別にこんなことなかったのに…
昨日あんな事があった所為で
余計に意識しちまってる…
俺は全然そんなつもりじゃ…
うおおおおおお
先帰ってるぞー

そう…私は変わったのよ…
ませてたあの頃とは違うんだから…！
か…怪人だ〜〜〜〜ッ！
!?
……怪人…？
…ま…まさか昨日のアレが…
学校にも出たっていうの…!?

キショショッ
ここが学校と言う所か…
若い人間だらけで丁度いい
昼間 私の妹を可愛がってくれた奴が出てくるまで遊んでいようかしら

想像の中で その女に如何わしいことをしていたのが手に取るように理解るわ

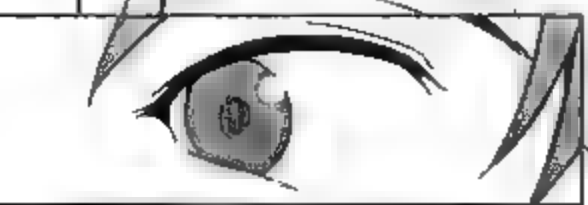
うわあああああっ

…でも…あの男子…
想像の中で私にい…如何わしいことをしたって…
そんなの自業自得じゃ――
どんな理由があろうと
人を想う気持ちを奪うなんて許せないだろ？
…そう…だよね…
いくら自業自得だからって…
〝好き〟って気持ちをキセイ蟲が奪っていい訳が無い
あの男子には私が自分でケリを付けなきゃ…！
待ちなさい…！

Hネルギーが吸いたいのなら…
まずは私からにしなさい…！
大丈夫…あの時だってなんとかなったんだから…！
!?
あら…エグゼロスより先に一般人が歯向かって来るのは想定外ね…
ヒイイッ
そんなに震えるくらい怖いのなら楯突かなければいいのに
それにしてもアナタ

あ…れ…？
なんで私こんなに震えて……
それじゃあお望み通り……
あなたのHネルギーを頂こうかしら…
…や…
やっぱりこんなの無理…ッ！
言ったろキセイ蟲
もう星乃に手は

出させないって

え…炎城…
って星乃 なんでお前の 服まで…!
あんたが やったんでしょ!?
悪い… つい力み すぎて…
どうすんのよ コレ!?
とにかく こっから何か 羽織って——

警備員さん早くっ…
こっちに怪人が…！
!?
隠れるぞ星乃っ！
だけどどこに…ッ

どこかに隠れてるのかも…

えっ えっ
シッ 静かに
絶対に声を立てるなよっ
そんなこと言われても…
こんなに裸で密着してると…
ドクンッ
ダメ…っ 心臓が高鳴って…
ドクン
こんなの絶対…

炎城に聞こえちゃってる…！

ふうっ…
やっと行ったか…
それにしても星乃・・
あんな事するなんてお前…
無茶しすぎだぞ…?
わかってるわよ…
だけど身体が勝手に動いちゃったんだからしょうがないでしょ…
まだ少しドキドキしてる…
ドキドキ
いったい何考えてんのよ私…
だけど…私だって
変わりたくて変わった訳じゃないのに…

私にあんな素質があるなんてホントは認めたくないけど…昔の私達みたいに一緒に居られるなら──
仕方ないわね…
そんなに私が必要ならなってあげる
その…“エグゼロス”って奴に

な…なんで急に…!?
なんでって…
そりゃあ私だってキセイ蟲は許せないし
すくっ
ただし…私でHネルギーを溜めるのは禁止だからね…!
もちろん他の娘とも!
ぜ…善処する…!
だけど…も…もし…万が一…
どうしても って状況に陥ったら…
その時は

少したったら
我慢して
あげても――

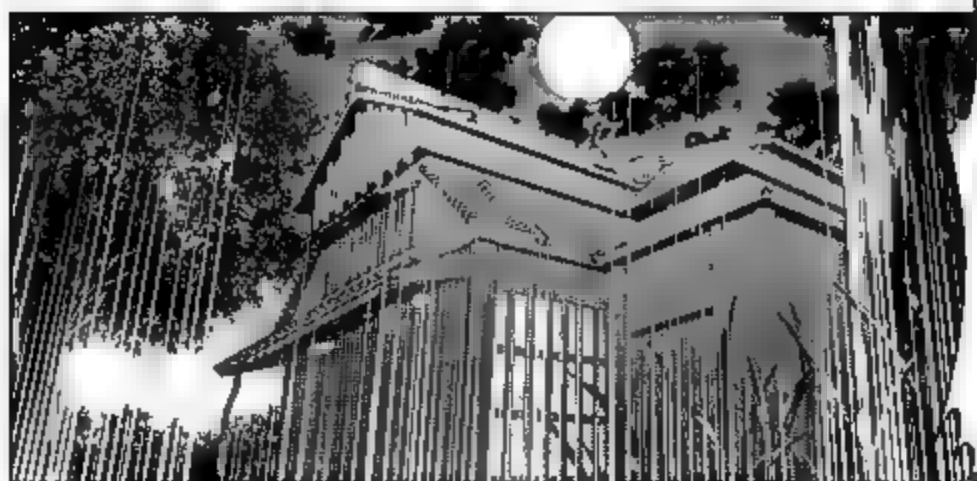
たらーっ
いやあああああああああああっ!!!
言った側からどういうつもりよっ!?
ぜ…善処はしてるつもりなんだけど…
あと…最後になんて言いかけたんだ…?
ぜ〜ったい言い直さないからッッッ!!!
ひゅるるーっ

な…なあ…
今あの男子と
何の話
してたんだ？
さあね
そんなことは
良いから
早く
行くわよ
行くって
どこに？
あんた達ん家

という訳で
これからよろしくお願いします
いやー良かった良かった
心配してたんやでー
所詮類は友を呼ぶだったね
そういうこと言わないの宙ちゃん…っ
とりあえずここの案内はウチらがするから男子は大人しく部屋に行っててや
えっちょ…
はいはい…

は一…今日は大変だった…
ボスッ
でもまさか本当に星乃がエクゼロスに入るなんて…
あれ…? ってことは俺…
今日から好きな人と一緒に住むってことか…!?
カァァァァァ
緊急警報発令
!?
緊急警報発令

ぱかっ
えっ？
えええええ〜〜〜っ!?

…お…お前ら…
なんで全員裸で…
いやぁ〜今日から折角仲間になるんやから
まずは風呂でスキンシップ取ろ思て…
や…
…や…

この後…
エグゼロス
結成初日の
キセイ蟲退治は

異例の早さで
終了したという

Extra Gallery

番外ギャラリー

https://dokyuhentai.co.jp
exeros
第3話
桃の園、百の花

立入の禁止
立入の禁止
パタパタ
すいーっ
ダッ

待てコラキセイ蟲ッ！
最近の連続勝負下着盗難事件はやっぱりお前らの仕業だったんだな！
キショショッ（しつこいわね人間）
キショオッ！（これでも喰らいなさいっ）
!?
グシュンッ
グシュンッ
なんだこれ…!?
いっ…行ったぞ桃園ッ…！
しゅん

女の子の大事な下着を盗むなんて許さへんっ！
もう逃がさへんで…
!?
一撃脳殺

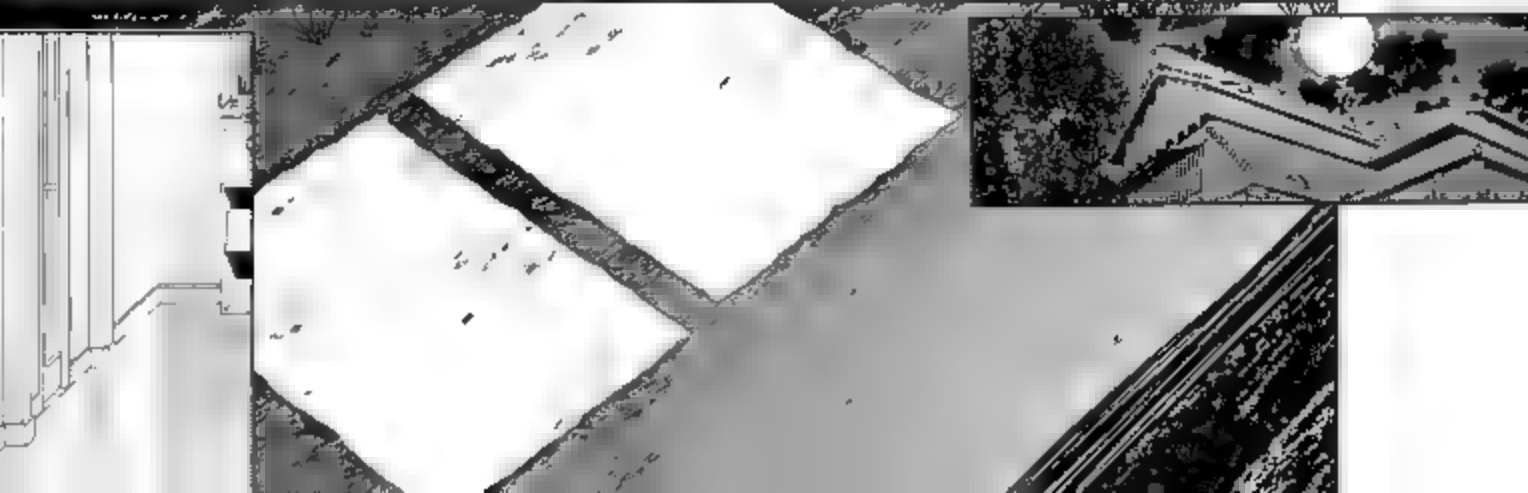
乱れ牡丹

!
炎城達…
そわ
そわ
もう終わったかな…
留守番
べしゃっ
!?
ボロ…
キシロ…（クソ…）
へ…?

トドメや
うんもっ！
そいつは文字通りもう蟲の息や
後は任せたで！
はっくしゅんっ!!
わかった…！
…だ…大丈夫…落ち着け私…
この間と同じようにやればいいだけ…
ぐっ
やああっ！

ペチッ
ッ！ひやあっ
あれ？

キショヨショ
ショショヨッ!!
（油断したわね
人間!!
あっちゃ
――…
グッショーン!!!
へなっ
へな

はあくっ
そんなに落ち込まないで下さい星乃さん
初めは往々にして上手くいかないものですから…
コト
そ…そう…？
でもこれで3回目だよね
あの日の活躍はどこへ行ったのやら
ギクッ
2話参照

部屋用意してくれたのはいいんだけど・・
何勝手に入ってるのよ…！
……
たまに仕事の後は　こうやって反省会兼女子会やってるんです
と…とにかく星乃さんも焦らずゆっくりやっていきましょう
あーもーまどろっこしいっ！
！

オイコラうんもッ！
自分 毎日ちゃんと溜めとんのか!?
ムニッ
だからきららだっての…溜めるって…何を…？
Hネルギーに決まっとるやろ！
まさか…あれから烈人と何にもしてないんか？
なっ何言ってんの当たり前でしょ…！
アッカーン!!

HEROになったからには
毎日EROいこと
考えなアカンやろ！
……………
ええ〜〜〜……
しゃーない…
ウチがうんもでも
楽にHネルギーを
溜められる取っておき
の方法を教えたる
ごそ
ごそ
…？
!
それって……

そう…

これはHネルギーを溜めるビデオ

通称"HV"や

!?

ちなみにちゃんとR-16やから心配いらんで!

そういう問題じゃないから!

だ…男子じゃあるまいし見る訳ないでしょ…!?

女子がそんなことするなんて恥知らずもいいとこよ…

……今何つった…?

すっ

キャーーッ
ごめんなさい星乃さんっ
百花ちゃん自分より胸がある人には容赦なくって
なんやと舞姫！
この乳か!?この乳が言ったんか!?
そりゃあ自分からすればウチらのしてることはアホらしいかもしれん…
せやけどな
皆信念持ってHEROやってんねん！
それを恥だなんて気安く言わんといてや！

ぶっ

お邪魔しました

きっ…気にしないでね星乃さんっ

ずる

ずる

……

……せやけど あんなに ムキになって しもたのは
姉ちゃんに 似てるからかも しれへんな…
今 人気上昇中の スーパーモデル 桃園園香は
ウチの姉や
まーた表紙に なっとる…
ウチがテストで 満点を取れば 全教科満点を取り
ウチが陸上で 自己新を出したと 思えば 大学の陸上 推薦を決めてくる
挙句の果てに ウチが好きに なった男子は全員 姉ちゃんのことを 好きになってまう
そんな 人やった

特に身体に関しては
誰やEROいこと考えると胸が大きなるって言ったんは…
まるで姉ちゃんと正反対や
ん？
桃園園香が教える豊胸テクニック♥
…こ…これは…
って
カレといっしょにカレいにバストアップ!
舐めとんのか〜〜ッ!!!

続いてはマル秘美容特集
パチッ
なんと牛乳風呂にバストアップ効果が!?
自宅で出来る簡単豊胸術をご紹介
バスルームでバストアップ
肌から直接タンパク質を摂取することによって乳腺を刺激し――
これや!!
翌日――
カポーン
ふっふっふ…
ちょうど今日ウチの学校は開校記念日
絶好の豊胸日和やな♪

それじゃあ早速…
キュポッ
おもろいかも…♥
トロッ♥
トロッ!!♥
トプッ♥
冷たっ
んっ
せやけどこれは少し…
※入浴用の牛乳を使用しています
そんでえくっと…
まずは円を描くようにマッサージと――

ただいま
ったく
桃園の奴…
また脱ぎ散らかして…
今日は散々走ったし
ガチャ
今の内にさっさと風呂入るか
ガラ

桃園ッ!?
っていうか牛乳臭っ!
入ってるなら返事くらい
って大丈夫か…?
ぐったり
なんや烈人か…
ざぱっ
ちょっと長風呂し過ぎてのぼせただけや…
ぐらっ
あれっ…?
ざぶーん

ブクブク
……
プハッ…
おいおい
本当に
大丈夫か!?
頼む烈人…
引っ張り上げて
くれへん…?
アカン…
のぼせて力が
入らへん…
ったく…
ほら…
目瞑ってる
から
上がるの
手伝ってやる…
おおきに…

んっ
あんま変な声出すなって…
し…しゃあないやん…
お…おい…
あ この感じ…
いくぞっ
せーのっ！
さっき読んだ彼氏に触ってもらう感覚ってきっとこんな感じなんやろか…
あかん…朦朧として変なことばっか考えてまう…

シャワァァァァァァ
ガッ
はぁ
はぁっ…
……桃園…も…？
…なぁ烈人…
やっぱ自分も…
胸が大きい娘が好きなん…？
……
へ…？
はっ!?
っ——

ついロ走ってもうた〜〜〜〜っ!!
ちゃっ…ちゃうねん烈人!
風呂場で牛乳飲もうとしたらのぼせてこぼしてもうただけで…
牛乳風呂でマッサージしたら豊胸効果があるって番組を見た訳でも
ウチが貧乳にコンプレックスがある訳でもあらへんからっ……!
って何言ってるんやウチは――!

あのな桃園…

はいいっ!?

俺は別に桃園がどう風呂に入ろうが自由だと思うし

今日のことは誰にも話さないから安心してくれ…

それに――

風呂場で飲む牛乳は嫌いじゃないぞ
俺も
…気ィ遣ってくれるのは嬉しいんやけどな烈人…
HXEROSめっちゃ反応しとるで？
!?
?

あれっ…なななんでだろ!? 故障かな!?
とりあえず今水持ってきてやるから安静にしてろよっ
ガラッ
ぴんっ
くっ
…せや…EROSの素質は乳だけで決まる訳やあらへん…
そんなの…あの日から分かってたことやん…
1か月前――
はくっ雨だる…
桃園くんだね？
※桃園百花

僕は地球防衛隊の庵野丈
君をスカウトしに来た
何やねんコイツ…
けったいな格好しよって
何か姉ちゃんと間違うてへんか？
ウチは平凡な百花才能ある姉の方が園香や
よう間違えられるねん
いや…僕は君に会いに来たんだよ桃園百花くん
君の力が必要なんだ
自覚がないかもしれないが君はお姉さんよりも遥かにHEROの才能がある

HEROに選ばれた時思ったんや

初めて姉ちゃんに勝てる物を見つけたって

ただいま

ガチャ

あれ…？なんか牛乳の香りが…

星乃・・・きらら！

！

つや つや

確かにウチは
自分ほど
スタイルは
良くあらへん…
せやけど
ウチらは
HEROや
EROSに
関してだけは絶対
負けへんからな！
それだけ
や！
う…うん…
……？
くるっ
ちなみに
スタイルの方も
諦めた訳や
あらへんからな！
翌日──
先日この番組で
放送した
牛乳風呂による
バストアップ術
ですが
完全なデマ
であることが
発覚しました
内容に誤りが
あったことを
深くお詫び
申し上げます
ガーン
なんやて
!?

第4話
バタフライ・エフェクト

せやけど皆信念持ってHEROやってんねん！
それを恥だなんて気安く言わんどいてや！
何よ…
まるで私がおかしいみたいじゃない…
まぁ確かに…ちょっと私も言い過ぎたかもしれないけど…
ごろんっ

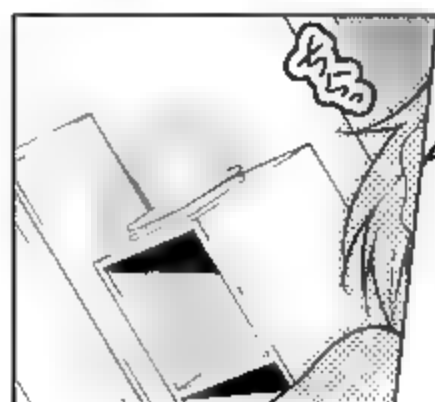
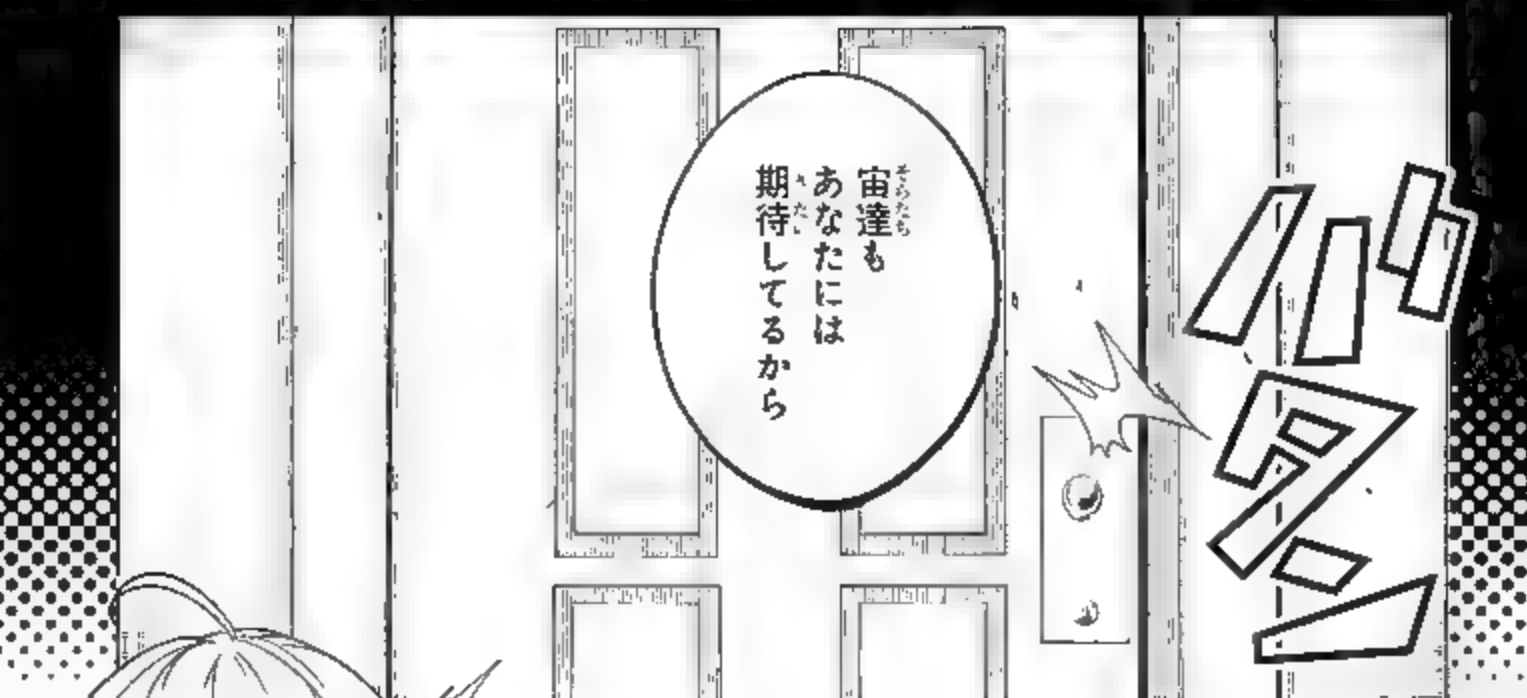
これ
!
百花ちゃんは口下手だから ああいう言い方しか出来なかったけど…
宙達もあなたには期待してるから
バタン
ぎゅ～ッ

もしもし
お母さん

やっほー
雲母

どう？
新生活は上手く
やれてる？

パキンッ

雲母の母
星乃麻衣香

昔はもっと素直だったのに
小５の時くらいかなー雲母が変わったの
ま深くは追求しないけどさ
……
でもそんな雲母がまさか人助けの為に住み込みでボランティアとはねー
で何に悩んでる訳？
ポスッ
いいよ…大したことじゃないから
なるほど大したことなのね
あーもうめんどくさ！
!?
あもしかしてれっくんのことについてだったりして

な…なんで
そこで炎城が
出てくるのよ
…!
そりゃあ
炎城さんから
聞いたのよ
れっくんも
おんなじ
ボランティア
ってね
主婦のネットワークを
舐めちゃ困るわ
!
…だけど…
それなら
安心ね…
だってアナタ
れっくんの前だと
特に素っ気ない
でしょ?
それって
きっと
アナタなりの
信頼の裏返し
なのかもね

そっ…それじゃあ明日も早いからもう切るねッ
おやすみっ！
ガチャッ
はいはい
おやすみ雲母
そういえば言われるまで全然気付かなかった…
キセイ蟲に襲われたあの日から
そんな癖が付いてたなんて…
ドキ
ドキ

それじゃあ…私が今Hな物が苦手なのって…
これはHネルギーを溜めるビデオ
通称HVや
ぷしゅーっ
やっぱ無理〜ッ!
ふにゃーっ

翌日──
チラッ

女子更衣室
あれ・・・
あれあれっ!?
どうしたの？夕奈
私の下着が無い・・・
ええッ!?
ギャ
ギャ
それヤバくない!?
……
ちゃんと穿いてきたんだよね・・・？

もしかして最近
噂になってる
下着盗難事件
かも…!?
連続下着
盗難事件…
どこかで
聞いたような
気が…
……
どうしよう
今日 先輩と
デートするから
気合い入れて
来たのにくっ…
…いやいや…
そんなはず
ない…
そんな偶然
ある訳…
あったー
―っ!!

あっ
待てっ!
ちょっ 雲母!?
!! なに…あれ…?
どした?
パ…
パンツが飛んでる…!?

どいて
どいてッ
ぎゅっ
!?
あー
もうッ!
なんでこんなことしてるの私っ…!
どうせ捕まえた所で私には倒せないのに…
そうよ…私が行った所で何になるの…?
またこの間みたいに結局取り逃がすに決まってる…
やっぱり私にはHEROなんて――

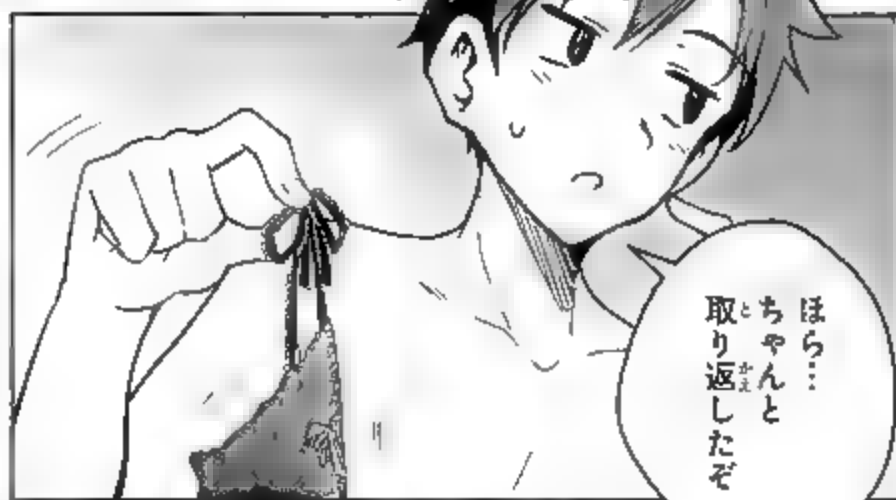
悪い星乃
遅くなった

炎城…!?
なんで…

そりゃあ
そんな格好で校内
走り回ってたら
嫌でも気付くって

でもまさかお前が
そんな方法で
Hネルギーを
溜めてるなんて…

違う
わよッ!

でも良かった……
星乃のことだから前の失敗をまだ引きずってるんじゃないかと思ったよ…
もう大丈夫だから
後は俺に任せろ
いつも良い所で現れて――
もうっなんなのよコイツ…

全然格好良くないいんだから…！
ギオオオオオオオ
ほら…ちゃんと取り返したぞ
ちっ違う違うこれは私はこんな派手なのじゃ——
何…今の光…!?
お前のだろ…？
!?
!

何してんの炎城くん…
この状況どう誤解するって訳？
いや…何か皆さん誤解してませんか…？
!
誤解よ

雲母…！
不審者を取り押さえようと私と炎城で揉み合ったんだけど
既の所でそこの窓から逃げられたの
だけど盗られた物は取り返したから安心して
ぱしっ
すっ
お…おう…
これで貸し借り無しだからね

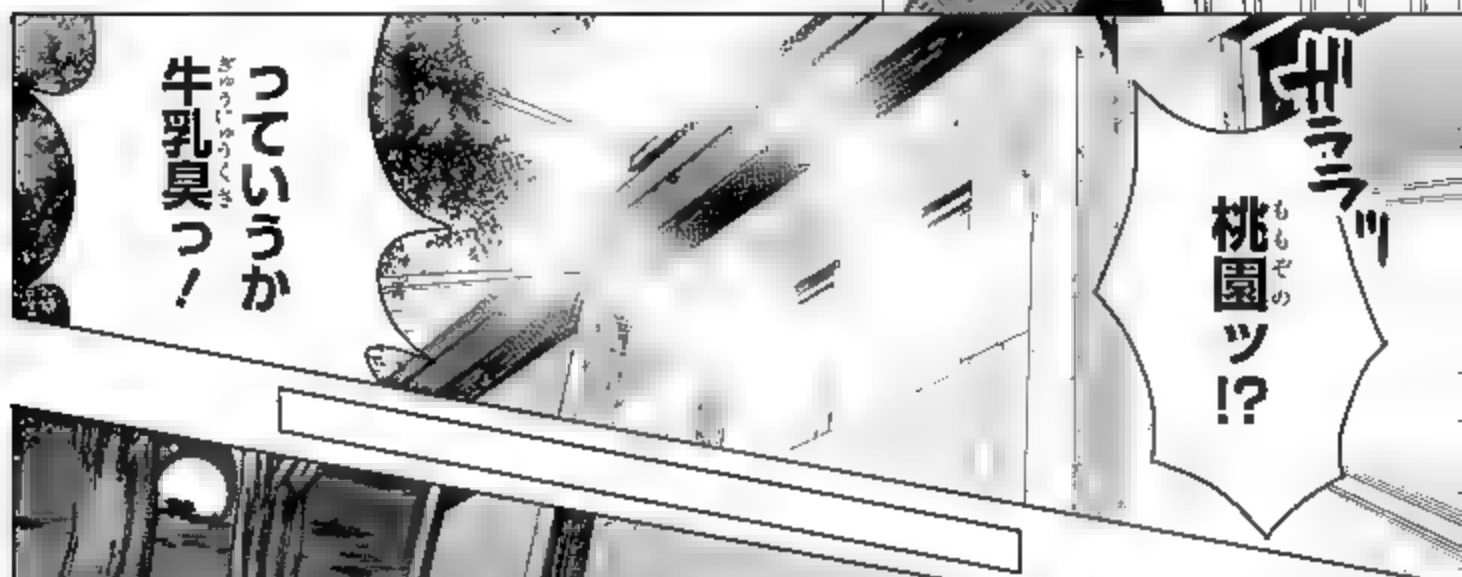
まぁ雲母がそう言うなら…
星乃さんが男子庇うなんてあり得ないし
ほっ
ありがとね〜雲母〜
これで放課後デートに間に合うよ〜
がっしぃ
はいはい…
これだからのろけは…
それで夕奈
そのことでちょっと…
相談があるんだけど
?

地球防衛
サイタで
ただいま
そっ…それじゃ…
私達寄る所があるからっ
にしても あの後の星乃…なんかおかしかったな…
ったく桃園の奴…
また脱ぎ散らかして…
ガララッ
桃園ッ!?
っていうか牛乳臭っ!

!?

ばっ

OFUTON

ぱたん
ド級編隊エグゼロス 1 (完)

お願いだから
これから
することは
絶対に
黙ってて…

勝負下着姿で炎城の部屋を
訪れた星乃――
どー
だからって…

どうして
こんなことに

幼い日の記憶が甦り
二人の関係が進展する!?

眠っている星乃に…

JUMP COMICS SQ.

ド級編隊エグゼロス

HXEROS

第2巻
2017年12月
発売予定!!

※2017年9月現在の情報です。

デジタル版限定特典　描きおろしイラスト

ド級編隊エグゼロス

1巻

きただりょうま

初版発行　　　　2017年
デジタル版発行　2017年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

EXTRA PAGES

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。